

令和6年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 「東京都立町田高等学校定時制課程学校運営連絡協議会」
- (2) 事務局の構成
副校長、事務局長（教務主任）、経営企画室長 計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任 スクールカウンセラー、ユースソーシャルワーカー 計8名
- (4) 協議委員の構成
町田市立中学校副校長、近隣町内会長、町田国際交流センター子ども教室部会長、近隣コンビニエンスストア店長、町田市公共職業安定所職業指導官、町田警察署少年第1係長、大学准教授2名、計8名

2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和6年6月24日（月）15：30～17：00 1棟31会議室
〔出席者〕 内部委員7名、協議委員8名
〔内容〕 協議委員委嘱、委員紹介、令和5年度学校経営報告、令和6年度学校経営計画及び教育目標の説明、各分掌の年間計画、本校の現状と課題等説明、意見交換、評価委員の選出・委嘱
 - 第2回 令和6年11月25日（月）15：30～16：30 大会議室
〔出席者〕 内部委員7名、協議委員6名
〔内容〕 第2学期活動報告及び計画に関する報告、協議委員からの教育活動に対する意見、第1回評価委員会報告、学校評価アンケートの内容検討及び協議
 - 第3回 令和7年2月28日（金）15：30～16：30 大会議室
〔出席者〕 内部委員6名、協議委員7名
〔内容〕 第3学期活動報告及び計画に関する報告、協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の報告及び学校運営に関する提言及び協議、次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和4年11月28日（月）（書面開催）
〔出席者〕 内部委員1名、評価委員1名
〔内容〕 学校評価の基本方針の確認、学校評価アンケートの内容確認、実施対象、実施範囲、評価項目及び評価方法の確認、調査手順の確認
 - 第2回 令和5年2月28日（火）（書面開催）
〔出席者〕 内部委員1名、評価委員1名
〔内容〕 学校評価項目の分析及び提案事項の検討、評価報告書（原案）の検討
上記内容を郵送にて意見集約

3 学校運営連絡協議会による学校評価の方法

- (1) 学校評価の観点
学校経営計画の達成状況を、学校運営、学習指導、特別活動、生活指導、進路指導、保健指導に関する本校の教育活動に対する理解度や満足度、達成状況などについてアンケートを実施する。学校経営計画等を適切に評価できるように質問項目を精査するとともに、生徒・保護者・教員の三者に対して共通の質問項目（10項目）でアンケートを実施した。ま

た、回答項目については、「はい」「どちらかといえばはい」「どちらかといえばいいえ」「いいえ」「わからない」の5択としている。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模 [昨年度]

- ・ 11～12月 生徒 回答 92人、回答率70.3% [82.9%] (在籍数108人)
- ・ 11～12月 保護者 回答 41人、回答率39.0% [23.3%] (保護者数105人)
- ・ 11～12月 教職員 回答 12人、回答率92.3% [100%] (教員数13人)
- ・ 11～12月 地域 回答 70人、町内の方々から意見を聴取 [昨年113人]

(3) 主な評価項目

入学満足度、通学への目的意識、学校生活の有益性、授業満足度、学校行事の充実度、面談週間の有効活用、教育相談の活用、有効な補講・補習、適切な進路指導、体罰・暴言のない指導等

(4) 評価結果

《別紙参照》

(5) 評価結果の考察 数値は肯定的な回答の割合《「わからない」割合》[昨年度の割合]

- ①生徒は、この学校に入学して良かったと思っている。
 - ・ 生徒89% [93%]、保護者97% [96%]、教員100% [93%] はいずれも高い。
- ②生徒は、学校に目的をもって通学している。
 - ・ 生徒86% [86%]、保護者90% [93%]、教員84% [85%] はいずれも高い。
- ③学校生活は、生徒の将来にとって有益である。
 - ・ 生徒80% 《86%》 [74% 《10%》] は増加し比較的高い程度に留まっている。保護者95%
- ④授業の内容に満足している。学校は、教科指導を充実させている。
 - ・ 生徒87% [85%] は高く、保護者78% [92%] は非常に高い。教員100% [93%] は非常に高い。
- ⑤定時制祭・校外学習など、学校行事は生徒にとって楽しく充実したものになっている。
 - ・ 生徒86% 《4%》 [78%] は比較的高い程度に留まっている。保護者86% [92%]、教員92% [93%] は非常に高い。
- ⑥生徒は、面談週間を有効に活用し、相談することができている。
 - ・ 生徒83% 《4%》 [72% 《15%》]、保護者76% [77%] は比較的高い程度に留まっている。教員84% [92%] は非常に高い。
- ⑦生徒は、SCやYSWに相談できる制度を活用していると思いますか。
 - ・ 生徒90% [85%] は高く、保護者78% [65%] は比較的高く、教員91% [100%] は非常に高い。
※SC：スクールカウンセラー、YSW：ユースソーシャルワーカー
- ⑧夏休みの補講、講習は生徒にとって有効である。
 - ・ 生徒73% 《13%》 [72% 《15%》] は大きく増加し高く。保護者69% [58%]、教員84% [77%] は比較的高い程度に留まっている。
- ⑨学校は、進路情報を収集・提供し、適切な進路指導・進路相談を行っている。
 - ・ 生徒73% 《20%》 [75% 《25%》]、保護者73% 《69%》 [74% 《16%》] はどちらも比較的高い程度に留まっている。教員92% [92%] は非常に高い。
- ⑩学校は、体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいる。
 - ・ 生徒75% 《14%》 [76% 《18%》] は増加し、高い。保護者85% [89%]、教員100% [100%] はいずれも非常に高い。
- ⑪保護者は、学校に気軽に連絡や相談をしたり、来校したりしやすい。
 - ・ 保護者81% [85%] と比較的高い。
- ⑫各種行事などのお知らせ等、学校の情報が家庭に伝わっている。
 - ・ 保護者79% [81%] と高い。
- ⑬業務の効率化を徹底し、ライフ・ワーク・バランスの実現を図っている。
 - ・ 教員100% [91%] と微増し、非常に高い。

以下は、地域アンケート

- ①生徒は楽しい学校生活を送っているように見える。
 - ・42%《57%》[26%《7%》]と減少し、半数以下であり、多くはわからないと回答する。
- ②生徒は、迷惑を掛けている。
 - ・7%《3%》[6%《8%》]と非常に低く、迷惑をかけていない。
- ③生徒の登下校マナーは、適切である。
 - ・43%《43%》[43%《40%》]と増加したが、やや低い。
- ④いままでに、本校の文化祭（定時制祭）を見たことがある。
 - ・3%《0%》[2%《0%》]と半減した。
- ⑤本校が、災害時の緊急避難場所になっていることを知っている。
 - ・91%《0%》[93%《0%》]と非常に高い。
- ⑥本校（定時制）の公式Twitterや公式YouTubeを見たことがある。
 - ・6%《0%》[9%《0%》]と増加したが、非常に低い。
- ⑦学校施設周辺の清掃状況は良好である。
 - ・82%《9%》[79%《9%》]と増加し、比較的高い。

4 協議議員からの意見等

(1) 協議委員人数 8人

(2) 「学校がよくなった」と考える協議委員の回答（人数）

そう思う	多少 そう思う	どちらと も いえない	あまりそ う 思わない	そう 思わない	分からな い	無回答
3	1				1	3

(3) 協議委員からの意見

- ・今年度も田尾辺お世話になりました。また、次年度も生徒さんたちの学びを共に見守っていただけましたら幸いです。
- ・一人一人に丁寧に対応されている様子が伝わってきます。
- ・地域の清掃ありがとうございます。先生も人数が少なくなり大変です。無理なさらずお願いします。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・学校経営計画の教育活動の目標を多面的に評価し、改善に活かしていく。
- ・学校評価アンケートの回答率を高める。
- ・学級減に伴う教員定数の削減に応じた組織改編に取り組む。
- ・Web ページなど様々なツールを駆使し、適時適切な情報発信を行う。
- ・学校説明会の内容を充実させる。

(2) 学習指導

- ・生徒による授業評価アンケートで、80%未満の科目の肯定割合を高めるなど、組織的な授業改善に取り組む。
- ・観点別学習状況の評価を適正に行うなど、学習指導要領を確実に実施する。
- ・日本語指導が必要な生徒のための支援をさらに向上させる。
- ・不登校経験のある生徒等の学びなおしの授業を充実させる。

(3) 特別活動

- ・桜美林大学との連携事業を継続・発展させる。
- ・部活動加入率を増加させ、活動の充実を図る。
- ・行事参加率を向上させる。

(4) 生活指導

- ・生徒の自立を支援する。
- ・生徒の規範意識や公共心を育成する。
- ・いじめの未然防止・早期発見に努める。また、体罰や暴言等のない指導を推進する。
- ・組織的な中退防止対策を推進する。

(5) 進路指導

- ・進路決定率を 100%に近づける。
- ・進路指導に関する情報提供を生徒・保護者ともに丁寧に行っていく。
- ・生徒のニーズに即した補習・講習を設定する。
- ・「総合的な探究の時間」等を組織的に運営し、自立支援やキャリア教育を充実させる。

(6) 健康・安全

- ・SC 及び YSW をさらに機能させ、不登校や不適応生徒に対し、丁寧に対応する。
- ・特別支援教育に組織的に取り組む。

6 その他

特になし